

雨の降り方と洪水について

雨の降り方と災害発生状況の目安！

10ミリ～20ミリ
ザーザーと降る。



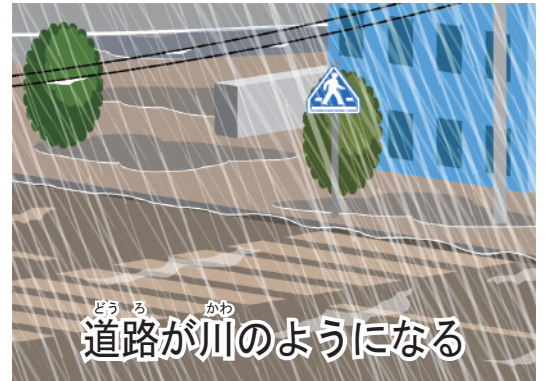
雨の音で話し声がよく聞き取れない

20ミリ～30ミリ
どしゃ降り。



傘をさしていてもぬれる

30ミリ～50ミリ
バケツをひっくり返したように降る。



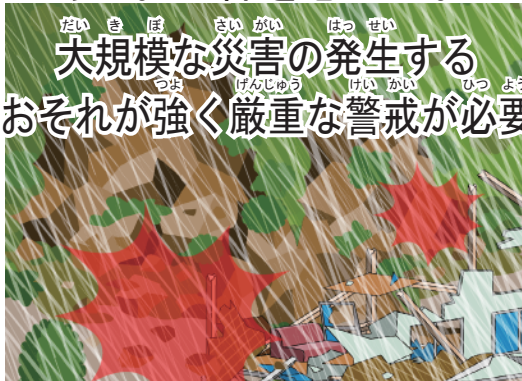
道路が川のようになる

50ミリ～80ミリ
滝のように降る。
(ゴーゴーと降り続く)



土砂災害が起こり多くの災害が発生する

80ミリ～
息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。



大規模な災害の発生するおそれが強く厳重な警戒が必要

30ミリを超える雨の時は、外出をひかえましょう。

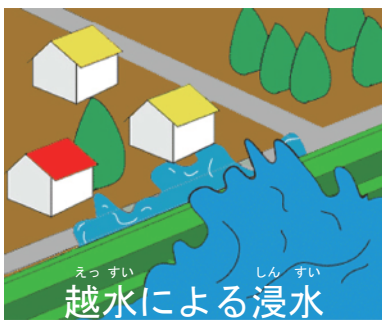
50ミリ以上の非常に激しい雨が降ったら、土砂災害に警戒が必要です。

〈参考：気象庁リーフレットより〉

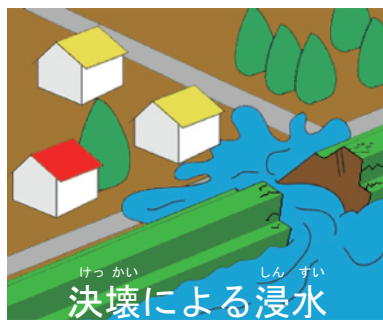
洪水について

雨がたくさん降って起こる洪水には、河川の増水による外水氾濫と排水ができなくなり浸水する内水氾濫があります。

外水氾濫



越水による浸水



決壊による浸水



平成25年
京都市桂川の増水

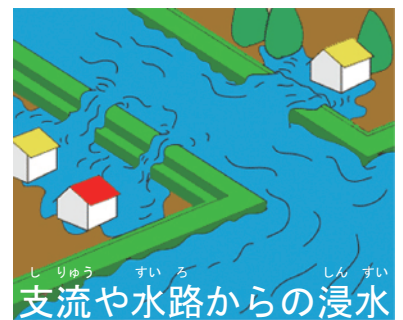


平成27年 茨城県常総市
堤防の決壊による浸水

内水氾濫



排水不良による浸水



支流や水路からの浸水



地下水路から吹き出す水



水路から道路への流れ込み

川沿いにお住まいのかたは、堤防の決壊や護岸が崩れるおそれがありますので危ない時は、すぐに水回避難してください。(P5参照)

上記のような場所を普段から確認し、必要な箇所にごうき土のうを用意しておきましょう。ただし、雨が降り始めてからの作業は危険です。大雨が予想される時は、事前に備えておきましょう。

